



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2005.09.02

No. 28 - 45

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office@alpajapan.org



## B777 FMS ソフトウェアの重大欠陥

### FAA が Emergency AD を発行

8月1日オーストラリアの Perth 空港を飛び立った Malaysian Airlines (MAS) の B777-200ER において、離陸 40 分後 FMS の故障が発生した。その時 B777 は FL360 を上昇中で、FMS の異常を感じた乗員はオートパイロットを解除して回復操作を開始した。しかし機は FL410 以上に上昇してしまい、IAS は最小値 185kt まで減少し、失速警報が作動した。

また機は左右にロールしたとも報じられている。このため Perth 空港に戻ることを決め、緊急事態を宣言し約 50 分後に着陸した。幸い怪我人の発生等は無かった。

B777 においては Inertial Reference System (慣性航法装置) と Air Data をまとめて Air Data Inertial Reference Unit (ADIRU) というシステムで処理するよう設計されている。この ADIRU のソフトウェア “Operational Program Software (OPS) P/N 3470-HNC-100-04” に誤りを含んだデータを受け入れてしまう部分があり、それが上記のインシデントの原因であることが判明した。

8月26日ボーイング社は Service Bulletin を発行し、続いて8月30日 FAA は Emergency Airworthiness Directive (AD) を発行した。

FAA は、「前記ソフトは故障したセンサーのデータを受け入れ、fly-by-wire の基本操縦系統、オートパイロット、オートスロットル、計器表示、オートブレーキに不具合を生じさせ、その結果パイロットのワークロードが急増し、所望の飛行経路からの逸脱、果ては操縦不能に至る可能性が生じる」としている。

AD で求められている対策は、メーカーが急遽再配布した、一つ前のソフト “P/N 3470-HNC-100-03” に戻すことである。FAA は 72 時間以内 という厳しい刻限を指定しており、世界中で使われている 500 機以上の B777 に直接関係することとなる。

FAA は、この改修はあくまで臨時の方策であり、メーカーは AD で指摘された問題個所の改修を考えている、としている。

(2005,8,29 IFALPA Daily News より)

